



令和3年度 塘路小中学校の教育

《 学校スローガン 》

『優しい学校』

森と湖のほといにある学校で、ゆったりとした時間を刻みながら、人、もの、自然に優しい子どもを育てていきます

家庭で育む

学校でみがく

地域できたえる

1. 学級担任の方針をていねいに説明
 - ・家庭訪問や学級懇談
 - ・日常の学級通信
2. 基本的な生活習慣を身につける
 - ・早寝・早起き・朝ご飯の定着
 - ・生活リズムチェックシートの活用
 - ・自分も相手も大切にす言葉遣いの意識化
3. ゲームやインターネットとうまく付き合う
 - ・情報端末利用の約束を整備する
 - ・情報モラル・リテラシーの授業～親子参観

- ～ 学校経営の強化項目 ～
1. 自己肯定感の醸成を図る4つの文化の創造
 - ・自己決定（自己選択）・自己責任（失敗の受容）の文化を創る
 - ・段階別のゴールを自己決定し、成功体験の蓄積を図る文化を創る
 - ・自分も相手も大切にす（優しく、理解されやすく、受け入れやすい）言葉を用いて、教師がモデリングとなる文化を創る
 - ・結末を受け入れ、解決志向で逆境を乗り越える文化を創る
 2. 開かれた学校を目指す3つの取り組みの推進
 - ・学校ホームページの定期更新（特色ある教育活動の全国への発信）
 - ・人財バンクの構築（塘路ふるさと教育の充実）
 - ・学校評価から学校課題を共有し、改善策を共に考える

1. 経験を広げる…地域先生の協力
 - ・標茶町博物館「ニタイ・ト」（アイヌ文化・塘路の歴史）
 - ・塘路湖エコミュージアムセンター「あるこっと」
 - ・塘路漁業協同組合（地引き網・わかさぎ釣り体験）
 - ・塘路ネイチャーセンター（カヌー体験）
 - ・標茶町商工会（職業体験）
2. 学校環境を整備する
 - ・塘路振興会 ・ひしのみ保育園
3. 安全を見守る
 - ・交通安全指導員
 - ・塘路駐在所 ・学童保育

《 目指す15歳の姿 》

1. 自分の行動や主張に責任を持つ生徒
2. 積極的に試行錯誤を繰り返す生徒
3. 学校をまとめ、自他共に成長する生徒

《基本理念》 モデリング ～教育目標の姿を具体的に実践して見せる教師集団の実現～

《具体的行動課題》 「具体化」と「結末の徹底」

～目標達成に向けた行動課題を具体化し、結末の経験を徹底する～

《 児童生徒の実態 》 R 2i-check より

- 規範意識が高い ○家族の支えを感じている
- 気持ちと行動を分けて考える「分別」ができる
- 他者評価が気になる ●傷つくリスクを背負う勇気が不足 ●伝える力が不足している

知

物事を正しく見つめ、深く考える子ども

徳

一人一人を大切にし、互いに協力する子ども

体

いつも明るく健康な子ども

確かな学力の向上

1. 目標値の設定～児童生徒自身が、目標値を自己決定する
2. 朝読書の設定～町立図書館との連携
3. 客観的資料による学力の分析～CRT、チャレンジテスト等
4. 指導方法の工夫～他校との合同授業、小外国語の単式化
5. 家庭学習の徹底～取り組む方法を、家庭とも共有する

豊かな心の育成

1. 「塘路ふるさと教育」の充実～地域資源・人材を最大限に活用
2. いじめ・不登校～基本方針・マニュアルによる理論知
3. 不適応（特支）への対応～チーム支援体制システムの構築
4. 情報モラル・リテラシー教育～授業・宣伝・外部講師
5. 生活習慣の改善～生活リズムスキルチェックシートの活用
6. 定性評価から定量評価への移行～i-check等の分析・活用

健康な体と安全教育の推進

1. 朝の活動（小）～日常の体づくり、体力向上
2. 部活動の強化（中）～標中や少年団との連携
3. 環境整備～校内マラソンで距離選択制導入
4. 防災教育・訓練～避難訓練・情報モラル・薬物乱用教室
5. 交通安全指導～自転車・交通安全講習
6. 緊急時の連絡体制～39メール配信システム